

# I 第2期子どもの読書活動推進計画策定に係る事前調査結果

塩谷町教育委員会  
平成25年2月

# 1 小・中学生の読書活動に係る実態調査結果(平成25年2月)

◇調査時期・機関：平成25年2月・塩谷町教育委員会

◇調査対象：小学校 町内3小学校の小学5年生111名  
中学校 町内1中学校の中学2年生118名

## 1 1ヶ月の読書量(まんがや雑誌は入れません)

		冊数										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
小学生	人	5	16	17	15	10	10	4	3	8	2	21
	%	4.5	14.4	15.3	13.5	9.0	9.0	3.6	2.7	7.2	1.8	18.9
中学生	人	3	42	25	20	5	9	2	0	0	1	11
	%	2.5	35.6	21.2	16.9	4.2	7.6	1.7	0	0	0.8	9.3

※ 「ほとんど読まない」を「0冊」、「10冊以上」を「10冊」として集計。

## 2 好きな本の種類

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
①伝記	17	15.3	9	7.6
②物語(小説)	79	71.2	108	91.5
③童話	21	18.9	15	12.7
④学習マンガ	39	35.1	10	8.4
⑤ゲームの本	43	38.7	29	24.6
⑥しゅみやスポーツの本	43	38.7	76	64.4
⑦図かん	23	20.7	11	9.3
⑧タレントなどが書いた本	16	14.4	32	27.1

## 3 心に残っている本やもう一度読んでみたい本の有無

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
①ある	84	75.7	91	77.1
②ない	25	22.5	27	22.9

## 4 読書についての考え(3つまで)

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
①たのしい	55	49.5	70	59.3
②考える力や創造する力がつく	24	21.6	53	44.9
③作文力がつく	18	16.2	22	18.6
④物知りになる	34	30.6	27	22.9
⑤感動する	25	22.5	51	43.2

⑥家族や友だちとの話題がふえる	34	30.6	17	14.4
⑦気分転かんになる	38	34.2	54	45.8
⑧作者や登場人物にあこがれたり、まねをしたくなったりする	24	21.6	25	21.1
⑨読書はめんどうだ	8	7.2	3	2.5
⑩どんな本を読んでいいか分からない	6	5.4	8	6.8
⑪読みたい本があまりない	13	11.7	9	7.6
⑫勉強時間がなくなるので本を読まない方がよい	3	2.7	1	0.8
⑬その他	7	6.3	5	4.2

## 2 子どもの読書活動の推進に係る意識調査結果(平成25年2月)

◇調査時期・機関：平成25年2月・塩谷町教育委員会

◇調査対象：小学校 町内3小学校の小学5年生保護者 90名  
中学校 町内1中学校の中学2年生保護者 116名

### 問1 子どもの読書活動を進めるための事柄への、保護者の認知度

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① 子ども読書の日(4月23日)	3	3.3	7	6.0
② 子どもの読書活動の推進に関する法律	1	1.1	4	3.4
③ 朝の読書活動	73	81.1	105	90.5
④ ブックスタート	15	16.7	16	13.8
⑤ 読み聞かせボランティア	88	97.8	104	89.7
⑥ 家読(うちどく)	28	31.1	30	25.9
⑦ どれも知らない	1	1.1	1	0.9

### 問2 子どもへの「読み聞かせ」経験の有無

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① ある	76	84.4	100	86.2
② ない	13	14.4	16	13.8

### 問3 子どもが読書活動によって得られることで、大切だと思うこと(3つまで)

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① ことばの習得	58	64.4	62	53.4
② 知識の習得	52	57.8	59	50.9
③ 感動する体験	43	47.8	46	39.7

④ 道徳観や倫理観	28	31.1	42	36.2
⑤ 集中力や忍耐力	27	30.0	35	30.2
⑥ 論理的に考える力	8	8.9	8	6.9
⑦ 表現したり創造したりする力	43	47.8	61	52.6
⑧ コミュニケーション（対話）能力	16	17.8	13	11.2
⑨ その他	1	1.1	4	3.4

#### 問4 子どもの読書活動への取り組み状況

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① 十分に取り組んでいると思う	8	8.9	8	6.9
② ある程度取り組んでいると思う	39	43.3	61	52.6
③ あまり取り組んでいるとは思えない	34	37.8	33	28.4
④ 不十分だと思う	10	11.1	14	12.1

#### 問5 子どもの読書活動が十分でない背景や原因となっていること《問4で③、④と回答した者のみ》

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① 家庭での学習	2	4.5	5	10.6
② 塾や習い事	9	20.5	10	21.3
③ テレビやラジオ、CD、DVDなど	31	70.5	29	61.7
④ 電話（携帯電話も）	3	6.8	19	40.4
⑤ インターネット（PC、携帯端末も）	12	27.3	23	48.9
⑥ ゲーム	35	79.5	33	70.2
⑦ 部活動やスポーツ、課外活動	11	25.0	16	34.0
⑧ 読みたい本が見つからない（わからない）	3	6.8	4	8.5
⑨ 読書の楽しさを知らない	17	38.6	18	38.3
⑩ 図書館等の施設の未整備	9	20.5	6	12.8
⑪ その他	3	6.8	2	4.3

#### 問6 子どもの読書活動を推進するために、特に必要と考えること

	小学生		中学生	
	人	%	人	%
① 良書の紹介や普及	26	28.9	36	31.0
② 幼児期からの読書推進	56	62.2	78	67.1
③ 読書推進のための催しの開催	5	5.6	11	9.5
④ 「読み聞かせ」の推進に関わる活動者・団体の養成と活動の場の拡大	30	33.3	20	17.2
⑤ 家庭や地域社会による読書の推進	29	32.2	30	25.9
⑥ 学校教育における読書の推進	29	32.2	41	35.3
⑦ 学校、施設、団体間の連携・協力	25	27.7	29	25.0
⑧ 図書館等の施設の整備	32	35.6	42	36.2

### 3 学校における読書活動の推進状況 児童・生徒の読書推進に対する取り組みの調査結果まとめ

塩谷町教育委員会事務局生涯学習課生涯学習担当

本調査は、本町における家庭、学校、地域での読書活動の推進を図り、子どもたちが読書に親しみながら心豊かに生活できる環境の整備をすすめる関連諸事業展開に役立てるため、学校における読書推進に対する取り組みについて実施したものです。

#### 1 調査の目的

各教育機関での読書推進の状況を調査し、家庭、地域、学校の連携を図った本町における子ども読書活動推進事業の推進に役立てる。

#### 2 調査対象

町内各教育機関（小学校3校、中学校1校）

#### 1 児童生徒の読書週間の確立について

(1) 「朝の読書」等の一斉読書活動を実施していますか。

- ①全校で取り組んでいる 4校
- ②学年・学級により取り組んでいる 0校
- ③取り組んでいない 0校

【具体的取り組み例】

- ・毎週月曜日の朝の活動で15分間実施している。
- ・週に一度、水曜朝を読書の時間として全校で取り組んでいる。
- ・週3回の読書（月・火・金曜日）、第3、4週の月曜日は、読み聞かせ（図書委員会、ボランティア）を朝の活動として、教育課程に位置づけて実施している。
- ・木曜日を除く毎朝20分間、「ひのきタイム」を利用し行っている。

(2) 読書、読み聞かせボランティアによる協力を行っていますか。

- ①全校で取り組んでいる 4校
- ②学年・学級により取り組んでいる 0校
- ③取り組んでいない 0校

【具体的取り組み例】

- ・毎月第一木曜日の朝、保護者や地域ボランティアに読み聞かせをしてもらっている。年に2回の読書週間にあわせ、地域の読み聞かせボランティアグループにお願いして、お話し会を実施している。
- ・月2回程度（隔週木曜日）8:10～8:25に13名のボランティアの方に都合が付く日のみ参加してもらう。
- ・第4月曜日を読み聞かせボランティアによる読み聞かせとして実施している。今年度は、9名のボランティアでローテーションを組んで各学級に配置した。
- ・毎月1回、金曜日の「ひのきタイム」を利用して行っている。読書ボランティア6名＋校長、教頭、事務長、司書、進路指導主任がローテーションで各学級でブックトークや読み聞かせを行う。

(3) (2) の質問で「①全校で取り組んでいる」または「②学年・学級により取り組んでいる」と回答した場合のみお答えください。読み聞かせのボランティアの発足の経緯は、次のどれにあたりますか。

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| ①学校から直接依頼して開始した。             | 2校 |
| ②学校から第三者（公的、私的）をとおして依頼して開始した | 1校 |
| ③ボランティアから打診があり、受け入れて開始した。    | 2校 |
| ④その他                         | 0校 |

【具体的取り組み例】

- ・学校から年度初めにボランティアを募る便りをだしている。
- ・町生涯学習課に依頼して、読み聞かせスタッフを紹介してもらったこともある。
- ・地域の読み聞かせグループに本校の保護者が所属していて、打診があった。
- ・具体的な敬意は不明である。
- ・開校当初から既にボランティアとの協力があったということですが、詳しい経緯については不明。3校に分かれていたころから実施していた学校があるということなので、その流れで始まったのではないかと思われる。

(4) 児童生徒の読書習慣確立についての読書指導に関する(1)(2)以外の取り組みを行っていますか。

- |                  |    |
|------------------|----|
| ①全校で取り組んでいる      | 3校 |
| ②学年・学級により取り組んでいる | 1校 |
| ③取り組んでいない        | 0校 |

【具体的取り組み例】

- ・「船っこ図書」として、おすすめの本を選び、その本を読んでもらえるようなクイズや読書カードコンテスト、スタンプラリー等を実施している。また、長期休業中の「図書室スタンプラリー」や多読賞、図書室だよりの発行等を行っている。
- ・学校として推薦図書（玉小のおすすめの本）を、学年ごとに設定している。
- ・国語科の授業を中心に、図書室の活用を啓発している。
- ・読書の励みとなるように、多読賞（図書室での貸出数）を設け、年度末に表彰している。また、学級文庫（図書委員が月に1回入れ替える）を設置し、図書室の本を読む機会を増やしている。

(5) 家読（うちどく）の推進のため、家庭との連携等の取り組みを行っていますか。

- |                  |    |
|------------------|----|
| ①全校で取り組んでいる      | 2校 |
| ②学年・学級により取り組んでいる | 0校 |
| ③取り組んでいない        | 2校 |

【具体的取り組み例】

- ・長期休業中に「親子読書」を自由課題として出している。親子で読んだ本のイラストや感想、家のひとのコメントなどを書いてもらい、図書室に掲示したり、図書室便りで紹介したりしています。また、図書室便りで繰り返し「家読」の実施を呼びかけています。
- ・家庭学習ファイルを活用し、家庭での読書を推進している。また図書便りを発行している。

## 2 教科等における読書活動の充実について

(1) 小・中学校教育研究会（小・中教研）図書館部会等の研究機関と連携して、実践事例の収集を行っていますか。

- ①行っている 0校
- ②行っていない 4校

(2) 教科等における読書指導に関する取り組みを行っていますか。

- ①行っている 3校
- ②行っていない 1校

【具体的取り組み例】

- ・国語科の授業で本の紹介をする単元や、民話の読み聞かせを聞く単元があり実施している。読書カードを書いた学年もある。学級活動では、必ず図書室のオリエンテーションを毎年行っている。また、生活科の学習で町の図書館を訪れ、実際に本を借りる学習をした。
- ・国語科の授業に出てくる読書教材を通して、各学年で読書指導をしている。
- ・国語科で読書単元を扱う際に、関連する図書の紹介などを行った。

(3) 図書室の学習情報センターとしての機能の充実を図っていますか。

- ①行っている 3校
- ②行っていない 1校

【具体的取り組み例】

- ・町採用の学校図書事務の方にお申し、学習に必要な図書を事前に集めてもらい、授業で生かしている。また、調べ学習に必要な本の充実の為に、優先的に購入している。教科指導にあたっている先生方には、購入希望を聞いて、不足している分野を優先して購入している。
- ・学年ごとに調べ学習がしやすいように、ワークスペースに学年にあった本棚を置いて、スムーズに活用できるようにしている。
- ・総合的な学習の時間や学級活動で調べ学習をする際に必要な図書が整備されている。

(4) 学校図書館担当職員や図書館司書と全教職員の協力体制の構築を図っていますか。

- ①図っている 4校
- ②図っていない 0校

【具体的取り組み例】

- ・学校図書事務の先生と図書館教育担当者が打合せをこまめに行い、図書事務を行ったり、読書指導の計画を立てたりしている。計画したことは、職員会議や朝の打合せで担当者が提案し、共通理解を図っている。
- ・教職員による読み聞かせの実施。購入希望図書の選定。
- ・読書週間や新刊図書購入の際に、全児童に企画や情報収集を計画的に行った。
- ・学校図書室担当職員が、生徒の図書室利用状況を各担任に毎月知らせてくれるので、指導がしやすい。また、昼休みや長期休業の時に図書室を開放し、生徒が学習したり読書したり環境を整えてくれる。

## 3 教職員の意識の高揚について

(1) 読書活動の重要性について、教職員の共通理解を図っていますか。

- ①図っている 3校

**②図っていない 1校**

**【具体的取り組み例】**

- ・年度初めに、図書館教育の計画について会議で共通理解を図った。
- ・校内研修で、共通理解を図っている。
- ・パンフレットの紹介や係からの読書指導についてのお願いなど、必要に応じて行っている。

**(2) 読書指導の充実のための総合教育センター等で開催する研修に教職員が参加しましたか。**

**①参加した 1校**

**②参加していない 3校**

**【具体的取り組み例】**

- ・総合教育センターで開催された学校図書館研修と家読推進フォーラムに担当者が参加した。

**4 学校での取り組みの周知について**

**(1) 学校図書館の活用や読書活動の促進に関する具体的な取り組みを学校関係者に周知しましたか。**

**①周知した 2校**

**②周知していない 2校**

**【具体的取り組み例】**

- ・学校評議委員会で、読み聞かせ等の活動について学校長から話しをした。また、学校から「図書館便り」を発行している。
- ・本校の重点目標の中に、読書の習慣化が含まれることや、読み聞かせの様子を、学校便り、学年便り等で周知した。

**5 その他**

**塩谷町図書館に対する要望がありましたら、自由に記入してください。**

- ・お話し会や読み聞かせ会を開催してほしい。(校外学習で子どもたちが伺ったとき、ボランティアの方が読み聞かせをしてくださり、とてもよかったです。子どもたちに優しくあたたかく接してくださりありがとうございます。)
- ・学校用の貸し出しカードを使って、月単位で何十冊か貸し出していただけたら、子どもたちがより多く本に触れることができるのでありがたいです。